

廃棄物ゼロエミッション

企業の事業活動では、多種多様な廃棄物が発生します。FDKでは限られた資源の有効活用や廃棄物による地球環境への負荷を低減する観点から、廃棄物の発生を出来る限り抑制するとともに発生した廃棄物を分別・リサイクルすることにより、埋め立て処分される廃棄物の削減に取り組んでいます。

2003年度は、工場で発生する汚泥についてバイオ処理分解するとともに道路の舗装材料としての活用を図りました。また梱包や容器などに使用されたプラスチックにつきまちは、チップ化により燃料として再利用する方法を活用し、リサイクルを推進しました。その結果、有効利用されない廃棄物の総量は545トンで、昨年度比45%削減いたしました。

第2期環境行動計画の目標である、有効利用されていない廃棄物を2003年度末までに1998年度実績比で60%削減に対しては、81%の削減となり、当初の目標を達成することができました。

今後につきましては有効活用されない埋め立て廃棄物をゼロにするゼロエミッションの確立を目指してまいります。すでにいわき工場及びFDKエコテック(株)では、ゼロエミッションを達成しており、その他の事業所においても2004年末までに達成すべく現在活動を強化してまいります。

さらに、廃棄物削減の観点からリサイクル専門のFDKエコテック(株)では、東海地区を中心に情報機器のリサイクル、廃プラスチック、ガラス、金属の分別、再資源化などの事業を行い、環境負荷の低減を図っています。

(P.24 FDKエコテック事業紹介参照)

2003年度の主な取り組み内容

バイオ処理分解による汚泥の削減

湖西工場とFDKエナジーでは、バイオ処理にて汚泥を分解させて消滅させる方法を導入しました。

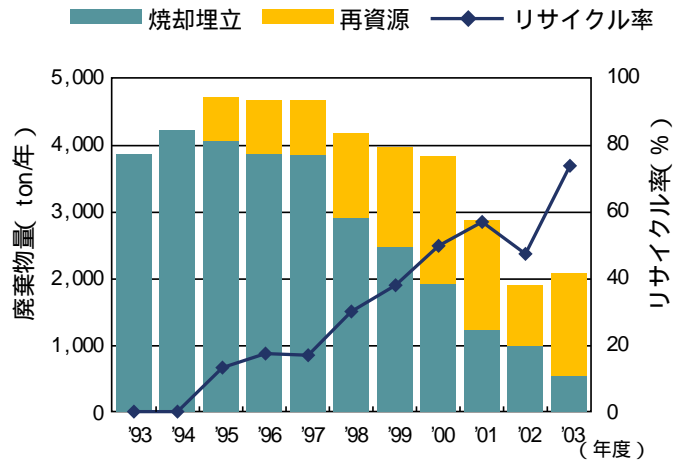
汚泥の炉盤材への有効活用

湖西工場とFDKエナジーでは、埋立処分していた汚泥を炉盤材の原料として有効利用しています。

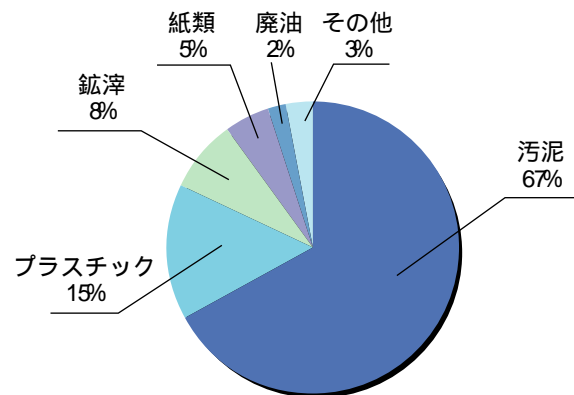
廃プラスチックの有効活用化

廃プラスチックなどの技術的に削減が困難なものにつきましては、鉄鋼やセメントなどの業界との連携により、最終埋めて処分量を削減しています。FDKエナジーでは、埋立処分していた廃プラスチックをリサイクル中間業者で分別・破碎しチップ化を行い発電所の燃料として再利用しています。

廃棄物の排出量



種類別の状況



汚泥のバイオ処理 (湖西工場)